

令和8年度 南筑後圏域 流域治水協議会 議事概要

日時:令和8年5月21日(木)14:00~15:00

場所:福岡県大牟田総合庁舎2階大会議室及びWeb会議(「Webex」利用)

議事次第

1. 開会
2. 流域治水について
3. 議事
 - (1)協議会規約の改定について
 - (2)流域治水プロジェクト更新案について
 - (3)今後のスケジュール(案)について
4. 関係機関からの情報提供
5. 意見交換
6. 閉会

議事概要

2. 流域治水について
「資料3」により、流域治水の概要、流域治水協議会、流域治水プロジェクトについて説明。
3. 議事
 - (1)協議会規約の改定について
「資料4」により、以下の内容を事務局より説明し、了承が得られた。
 - 流域治水協議会名簿を以下の通りに変更。
福岡県 総務部 防災危機管理局 消防防災指導課長 → 組織改編により削除
福岡県 建築都市部 下水道課長 → 福岡県 建築都市部 上下水道課長
福岡県 筑後川水系農地開発事務所長 → 福岡県 筑後川水系農地防災センター長
 - 幹事会名簿を以下の通りに変更。
大牟田市 都市計画・公園課長 → 都市計画課長
福岡県 総務部 防災危機管理局 消防防災指導課 課長補佐
→ 組織改編により削除
福岡県 建築都市部 下水道課 課長技術補佐
→ 福岡県 建築都市部 上下水道課 課長技術補佐
福岡県 筑後川水系農地開発事務所 工務課長
→ 福岡県 筑後川水系農地防災センター 工務課長

【意見】

(荒尾市)

- 幹事会名簿(別表3)について、以下について修正いただきたい。
誤:建設農水部 土木課長、地域振興部 都市計画部長、建設農水部 農林水産課長
市民環境部 防災安全課長
正:土木課長、都市計画課長、農林水産課長、防災安全課長

(事務局)

- 名簿について修正を行う。

(2)流域治水プロジェクト更新案について

「資料5」により、以下の内容について事務局より説明し、了承が得られた。

- 「資料5」は、昨年6月に公表した流域治水プロジェクトの更新版となり、幹事会において取り組みの実施状況の確認を行い、取りまとめたものとなっている。
- 位置図の更新点は、令和8年3月時点で完了する取り組みが分かるように表現したことである。
- ロードマップの更新点は、令和8年3月時点で完了する取り組みが分かるように表現したことである。
- 取り組みの紹介の更新点は、新たな紹介資料を追加したことであり、本圏域においては44の紹介資料となる。

(3)今後のスケジュール(案)について

「資料6」により、以下の内容を事務局より説明し、了承が得られた。

- 4圏域全ての協議会が終了後、資料の最終調整を行い、6月下旬にプロジェクトの更新版を公表予定。
- 来年度も今年度と同様に、流域治水対策等における情報共有や、プロジェクトの更新を行っていく予定。

4. 関係機関からの情報提供

「資料7」の取り組みの紹介により、以下の内容について各機関より説明。

① 福岡県農林水産部農山漁村振興課、農村森林整備課

- 流域治水対策に係る主な支援事業(農業農村整備事業及び農業農村整備関連事業)について

② 福岡市道路下水道局計画部河川計画課(事務局代理説明)

- 民間事業者による雨水貯留浸透施設の設置に対する補助制度の創設
- 灌漑用途廃止後のため池を洪水調節池(治水池)へ転用

③気象庁福岡管区気象台

- 新たな防災気象情報について

④福岡県河川整備課

- 特定都市河川指定について
- 流域治水協働推進事業について

5.意見交換

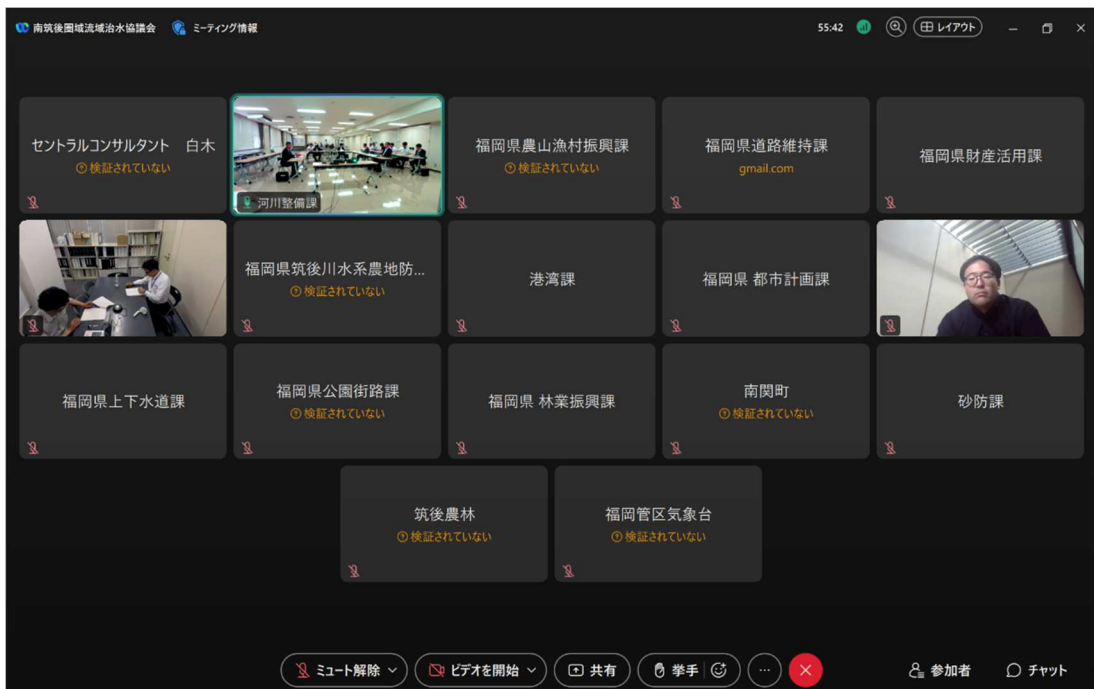
(大牟田市 関市長)

- 近年は全国的な豪雨の甚大化に伴う被害が拡大している。福岡県内では、昨年8月に宗像市、福津市を中心に甚大な被害が発生した。大牟田市でも令和2年7月の記録的な豪雨により人的被害や市内全域で多くの床上・床下浸水に見舞われ、甚大な被害が発生した。
- 大牟田市では、令和5年3月に大牟田市排水対策基本計画を策定し、昨年度末までに全体の約80%に着手し、約40%に当たる事業を完了させている。市内の企業が取り組む雨水貯留浸透施設の整備においては、国、福岡県のご協力をいただいて無事に完成したところである。令和8年度についても年度内の完成を目指している三川新ポンプ場の建設をはじめとしたハード対策や、災害対策本部の設置運用訓練等のソフト対策に取り組んでいく。
- 福岡県においては、令和7年3月に諏訪川の河川整備基本方針を策定していただいた。引き続き、上流域である熊本県としっかり連携を図って頂きながら早期に河川整備計画を策定していただき、諏訪川の整備を進めて頂くようお願いしたい。

(福岡県県土整備部河川整備課 佐々木課長)

- 市長よりお話のあった大牟田市排水対策基本計画について、昨年度までに全体の80%に着手し、40%の事業が完了したとのことで、本県の事業においても着実に進めていく。
- また流域治水においても、今年度もハードとソフトの両面からの取り組みを実施する方針でおられ、民間事業者による雨水貯留浸透施設が完成したということで、出水期を迎えるにあたり地域の安心・安全が一層高まったことを感じている。
- お話にあった整備計画につきまして、市内を流れる二級河川の諏訪川と上流の関川においても、令和7年3月に河川整備基本方針を策定している。引き続き河川整備計画の策定について福岡県、熊本県と連携を図って進めていきたいと考えている。

協議会の様子(WEB会議)



協議会の様子(会場)



以上